

神武東征は有ったのか！ 長浜浩明氏の動画の論評

2023年4月8日

第28回 : 古代史を解明する会
丸地三郎

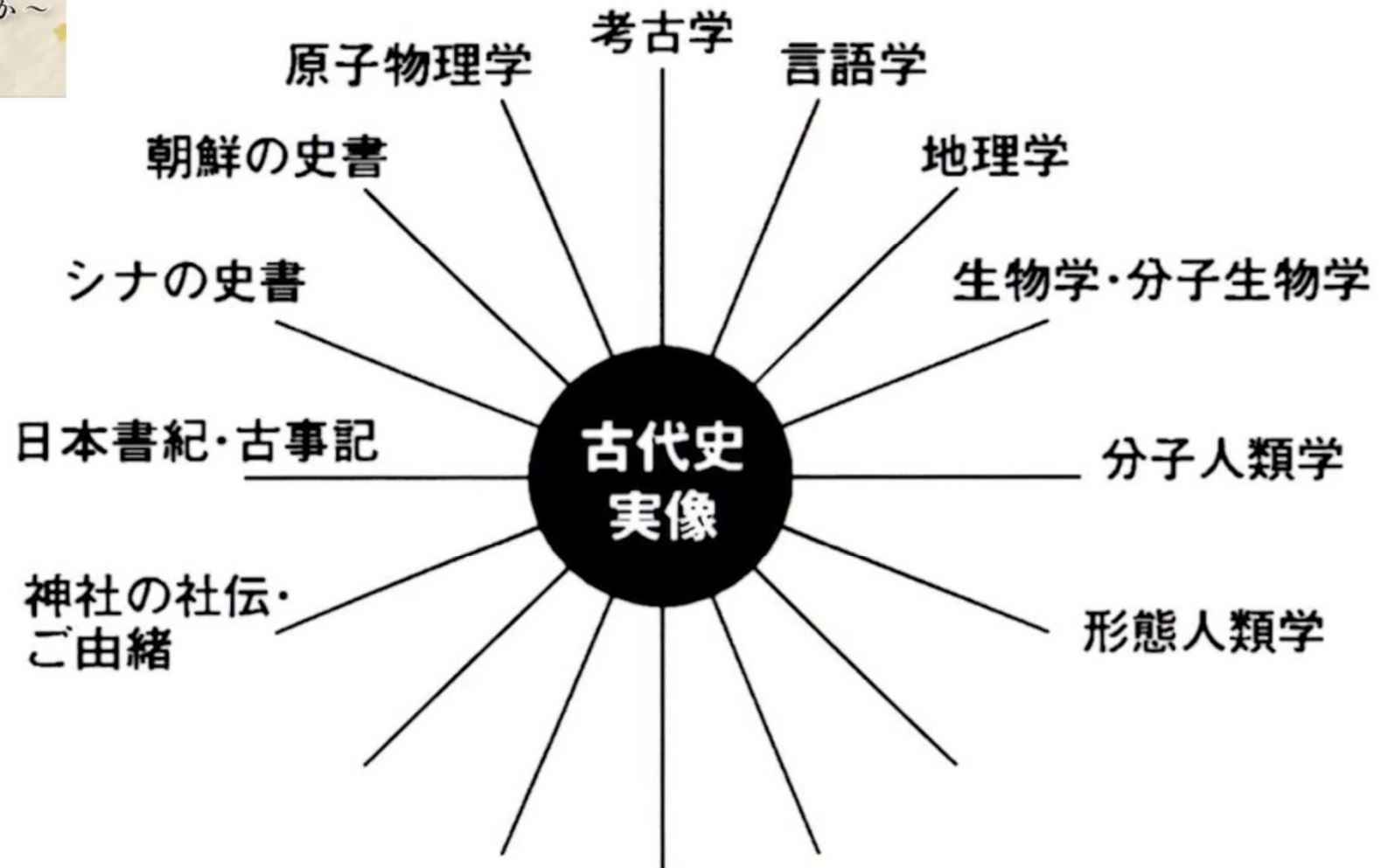
長浜孔明氏の動画

- 三部作で、「科学で検証 神武東征は有ったのか！」と云うもので。
 - 1/3～なぜ日本人のルーツから始めるのか～
 - 分子人類学から読み解く日本人のルーツとは？(長浜浩明)
 - <https://www.youtube.com/watch?v=-qwim83ScRY>
 - 2/3～神武東征・封印から復活へ～
 - 資料が解き明かした神武東征の真実とは？
 - <https://www.youtube.com/watch?v=IQUJxqCoAj>
 - 3/3～こうして証明された神武東征
 - 歴史書が証明した神武天皇の存在(長浜浩明)
 - <https://www.youtube.com/watch?v=yyumrh9Z83s>
- ✓ この動画を見た方々のご意見/感想を聞き、
 - 共感できること
 - 異なる意見 をまとめてみます。
 - この動画で示された日本古代史を追求し、明らかにして行く手法が、我々の方法と類似しています。
 - しかし、結論は、大幅に違うものになります。
 - 何故、このような違いが生まれるのか？ 何に、注意して行かなければならないのか？
 - これを検証してゆきます。



◆ 古代の解明手法

1. 科学的・論理的に古代史に接する
2. 様々な角度から、相互矛盾のないよう解明する
3. 自己主張するのではなくデータをして語らしめる
4. 誰もが納得できる論理展開を行う



- 4つの手法
 - 科学的に論理的に
 - 様々な角度から相互矛盾の内容に
 - 自己主張では無く、データをして語らしめる
 - 権威者の発言だからと云って重んじず、我々が納得できる論理展開を行う
- 日本人類の渡来
 - 斎藤成也氏の説
 - アフリカから中国—朝鮮半島 又は、北方から日本へ
 - 中国経由で来たならば、日本語と中国語は、完全に別系統で、説明が付かない。
 - 沖縄に旧石器人骨が多数出土。しかし、これを顧みない。
 - 考古学的な考え方が欠落している。
- 分子人類学
 - ジェノグラフィック・プロジェクトが描く新人拡散ルート
 - 南方から沖縄を経由して日本に新人が到来
 - 朝鮮半島を経由して、中国へ
 - 日本から更に北方へ行き、アラスカ・北米大陸-南米大陸へ
 - 世界中の原住民1万人のY染色体を調査した
 - 考古学者・人類学者とDNA研究者が共同して調査した結果
 - 信頼性が有る

朝鮮半島 の歴史

◆ 韓国・国立博物館の巻末年表 (1993) (『概説 韓国考古学』 2013)

연 표 CHRONOLOGICAL TABLE

나라 연대	한 국 KOREA	중 국 CHINA	일 본 JAPAN
BC 30000	구석기시대 舊石器時代 PALAEO-LITHIC	구석기시대 舊石器時代 PALAEO-LITHIC	선 토 기 시 대 先 土 器 時 代 PRE-POTTERY PERIOD
10000	신석기시대 新石器時代 NEOLITHIC	신석기시대 新石器時代 NEOLITHIC	조 문 시 대 繩 文 時 代 JOMON PERIOD
5000			
1000	청동기시대 靑 銅 器 時 代 BRONZE AGE	상 황 SHANG	조 문 시 대 繩 文 時 代 JOMON PERIOD
900		서 주 WESTERN CHOU	
800	고 조 선 古 朝 鮮 OLD CHOSON	770 춘 추 시 대 春 秋 時 代 SPRING & AUTUMN	조 문 시 대 繩 文 時 代 JOMON PERIOD
700		동 주 EASTERN CHOU	
600	민무늬토기문화 民 無 文 土 器 文 化 PLAIN COARSE POTTERY CULTURE	475 전국시대 戰 國 時 代 WARRING STATES	조 문 시 대 繩 文 時 代 JOMON PERIOD
500		221 진 황 CH'IN	
400	초기 철기시대 初 期 鐵 器 時 代 EARLY IRON AGE	206 서 (전) 한 西 (前) 漢 WESTERN HAN	조 문 시 대 繩 文 時 代 JOMON PERIOD
300		삼 한 三 韓 THREE HAN STATES	
200	신 라 新 羅 SILLA	25 동 (후) 한 東 (後) 漢 EASTERN HAN	아 요 이 시 대 彌 生 時 代 YAYOI PERIOD
100			
0	백 제 百 濟 PAEKCHE	220 삼국 三國 THREE KINGDOMS	아 요 이 시 대 彌 生 時 代 YAYOI PERIOD
57	고 구 려 高 句 麗 KOGURYO		
42	낙 랑 樂 浪 LOLANG		
37			
108			

- 日本人は、朝鮮半島から来た/皇室は朝鮮半島から来たなどの諸説があるが……
- 韓国・国立博物館の年表では、BC1000年より前を新石器時代 櫛文土器文化とし、日本の縄文人が移り住んで居たことを、韓国の学者が認めている。

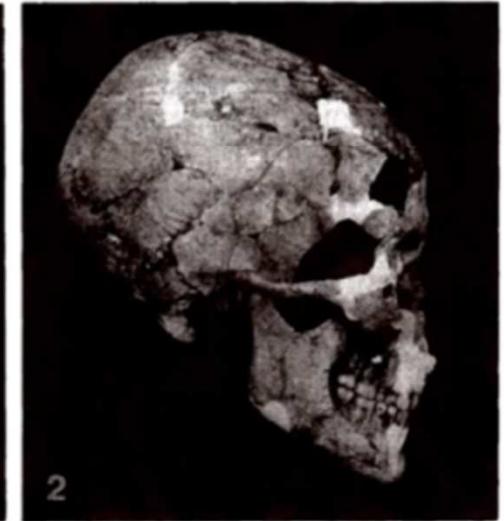
縄文人の移り住んで居た証拠

❖ 韓国国立博物館の展示



❖ 韓国・煙台島で発掘された前4000年紀頭骨

鹿児島大学歯学部口腔解剖学口座Ⅱ『朝鮮半島出土子人骨の時代的特徴』1998年より
(15体中、前歯部が確認できた6体の頭骨の一例 『韓国人は何処から来たか』 p 39)



◆ 韓国人は何処から来たか

- 旧石器時代人は、現在の韓（朝鮮）民族の直接の祖先ではなく、直接の祖先は約4000前の新石器時代人からである。

(金両基監修 姜徳相 鄭早苗 中山清隆)



今度は、日本からではなく、北部シナからやって来て、縄文人の住んでいた半島を、北から圧迫していった！

◆ 井上秀雄 『古代朝鮮』

「1～4世紀韓半島南部は「倭」と認識されていた」

『三国志』・韓 「韓は帯方の南にあり、東西は海を以て限りとなし 南は倭と接す」

『隋書』・東夷 「高句麗の先祖は扶余から出ている」「百濟王の先祖は高句麗から出ている」
「新羅王の先祖は、百濟人で、百濟を逃れて海路新羅に来て国王になった」

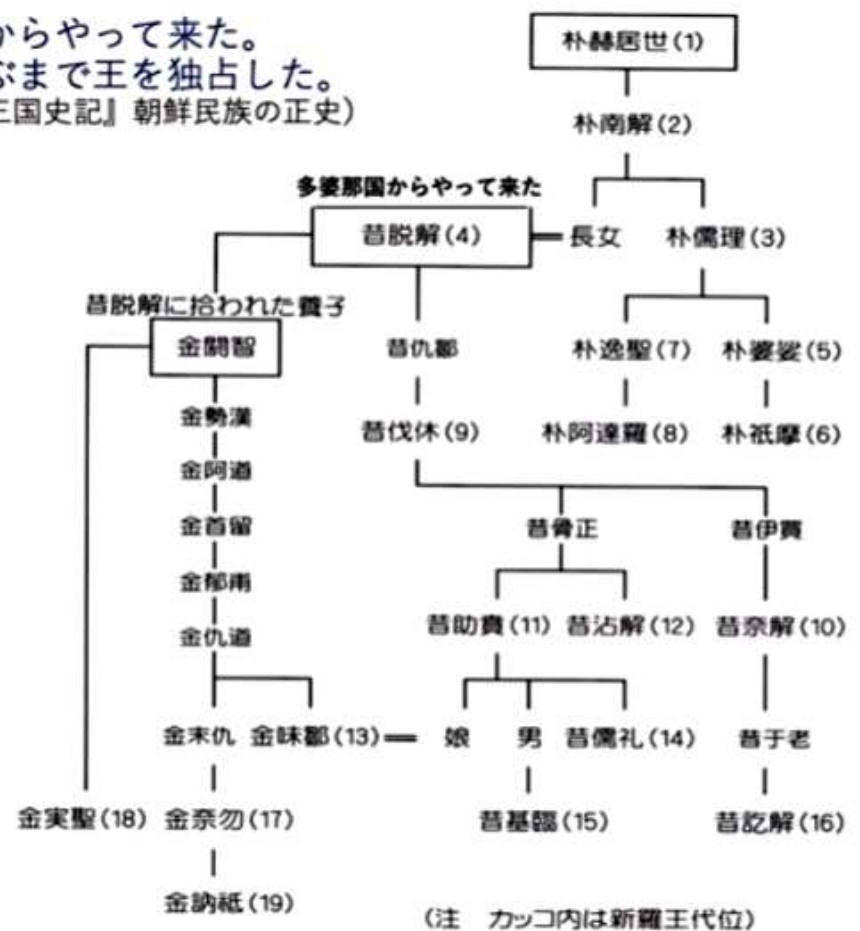


図6 1～2世紀の韓半島
(井上秀雄著『古代朝鮮』講談社学術文庫 P.45より)

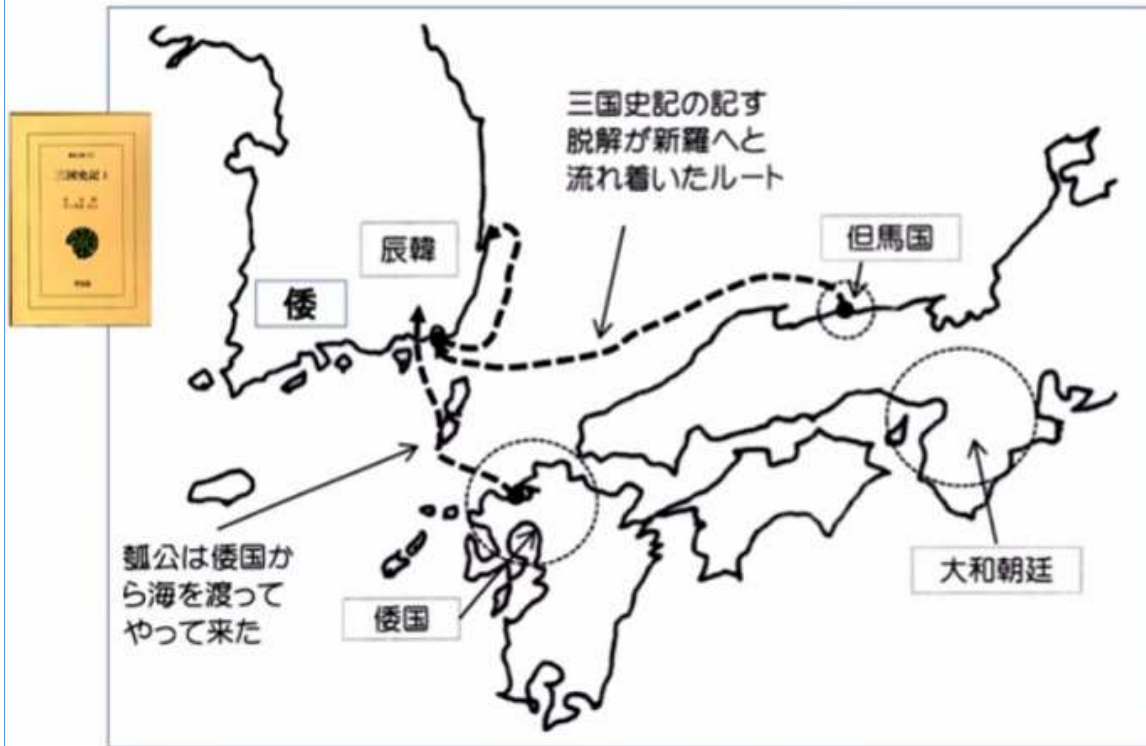


図7 『三国志』の記す韓半島の諸民族
(井上秀雄著『古代朝鮮』講談社学術文庫 P.64より)

◆新羅王族は日本からやって来た。
 そして新羅が減ぶまで王を独占した。
 (12世紀に完成した『三国史記』朝鮮民族の正史)

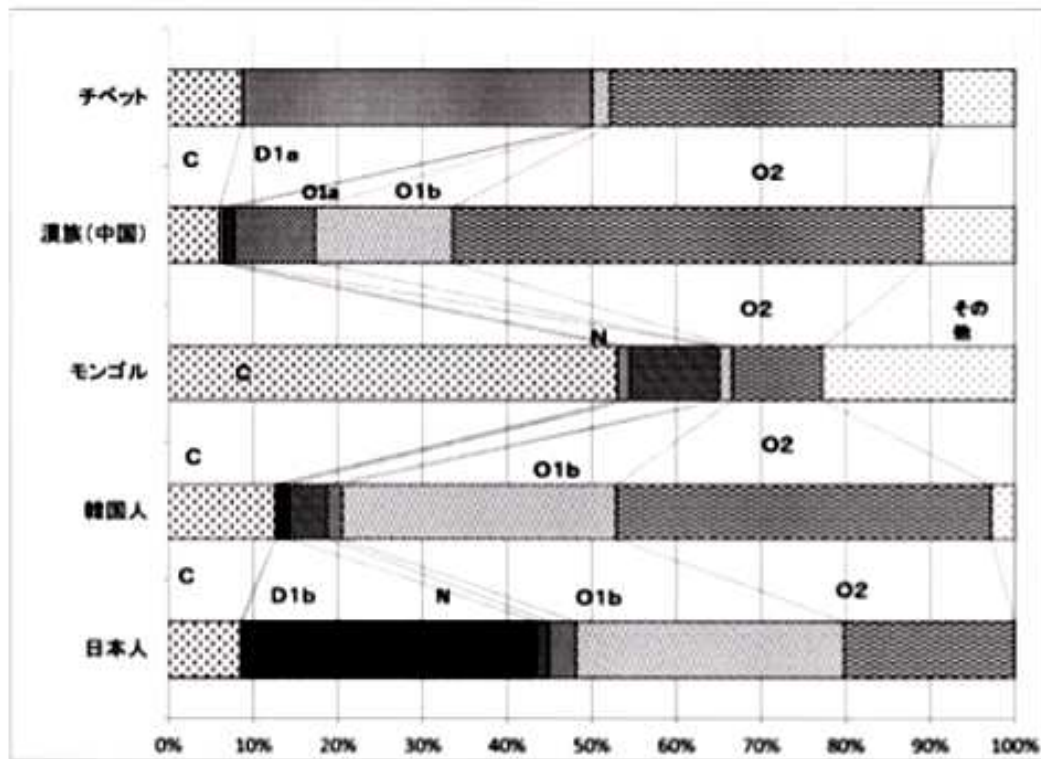


◆『三国史記1』の記す多婁那国、辰韓と倭国、大和朝廷の位置関係
 「脱解(在位57-80)は昔し多婁那国で生まれた。その国は倭国の東北一千里の所にある」



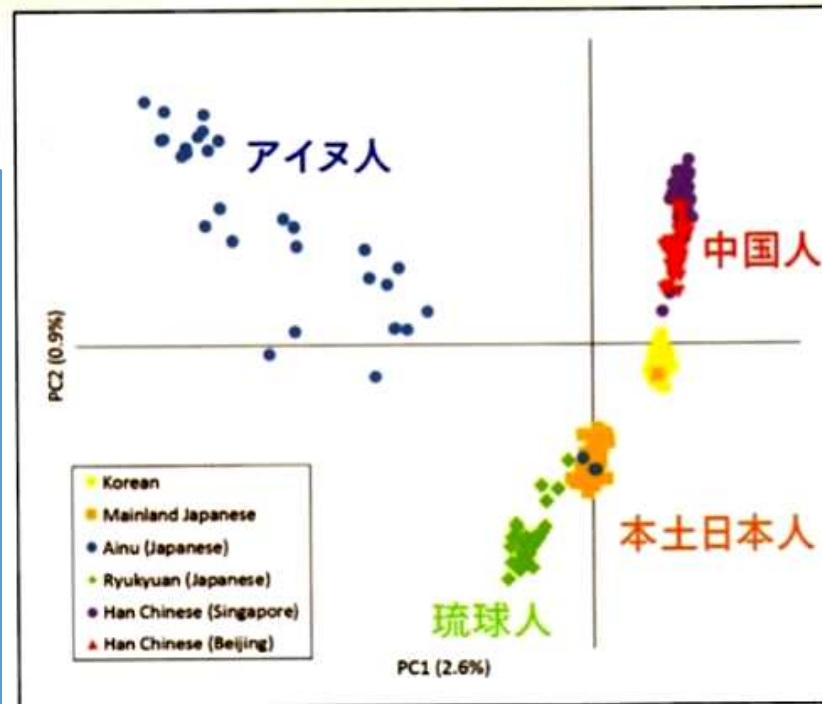
天皇家が朝鮮半島から渡って来たと言うのは、真逆でして、新羅の王朝は日本から渡ってきた。

◆日本人及び周辺国の遺伝子構成 (Y染色体)



ハプロタイプ サブグループ	D				O			他	n	論文作成者・年
	C	D1a	D1b	N	O1a	O1b	O2			
日本人	8.5	0.1	34.7	1.6	3.2	31.7	20.1	0.1	259	Hammer 2005
韓国人	12.6	0.0	1.6	4.5	1.8	32.4	44.3	2.8	506	Kim 2011
モンゴル	53.0	1.5	0.0	10.6	0.0	1.5	10.6	22.8	65	Xue 2006
漢族(中国)	6.0	0.6	0.0	1.1	9.6	16.3	55.4	11.0	166	Karafet 2005
チベット	8.7	41.3	0.0	0.0	0.0	2.2	39.1	8.7	46	Wen 2004

図一 1 日本及び周辺地域のY染色体ハプログループの頻度
(出典:フリー百科事典「ウィキペディア」から文献掲載の明かなデータを基に作成)



- D1bは縄文人で朝鮮半島にも痕跡が残る。
- 中国人と日本人は祖先が異なる。
- 韓国人は、縄文人が住んで居た朝鮮半島に北方から中国人が来て、混血した。
- 中国人と日本人の間に居るのが韓国人。
- アイヌ人は、日本人の先住民であると云われるが、日本人とは全く関係ない民族。
- 日本人・皇室の祖先は、日本の中から生まれ出たものだと云うことが論証できた。
- 縄文人は日本人の直接的祖先だった。

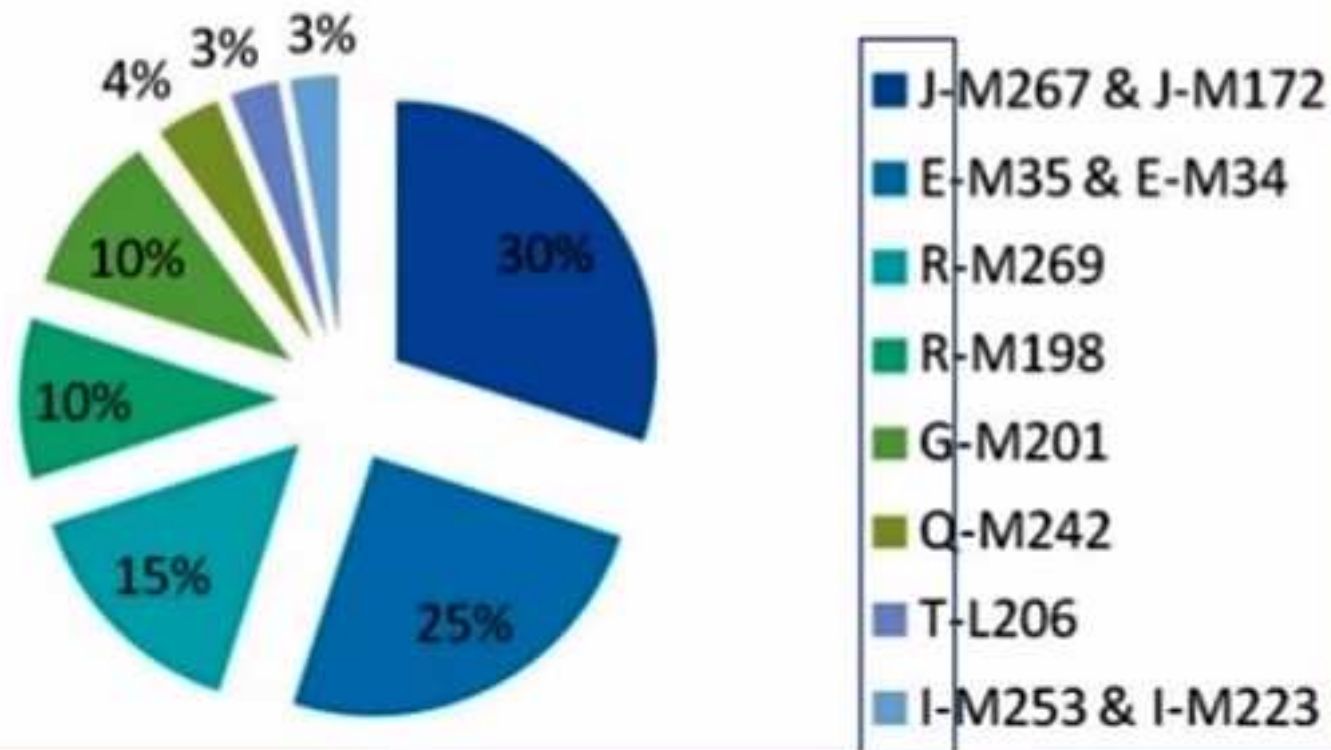
◆ユダヤ人のY染色体

日本人のハプロタイプ[C,D,O,N]と全く一致しない！

ユダヤ人は日本へやってこなかった！

ユダヤ人男性から採取されたY染色体の比率を表したグラフ（2014）
分岐指標となるSNPマーカー

2014 Y-Chromosome Haplogroup Among the Jews



1/3
の
終了



◆ 明治34年 高等小学校歴史教科児童用教科書



◆大阪城天守閣から望む河内・生駒山



◆大阪中心部と上町台地



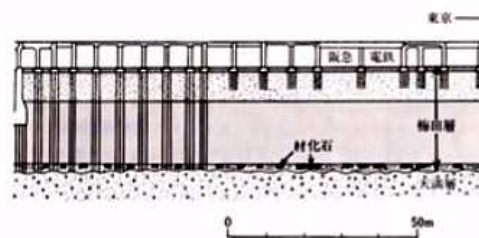
生國魂神社
お旅所どころ



神武東征は
確かにあった。
その時代は？

2/3の終了

◆大阪駅断面



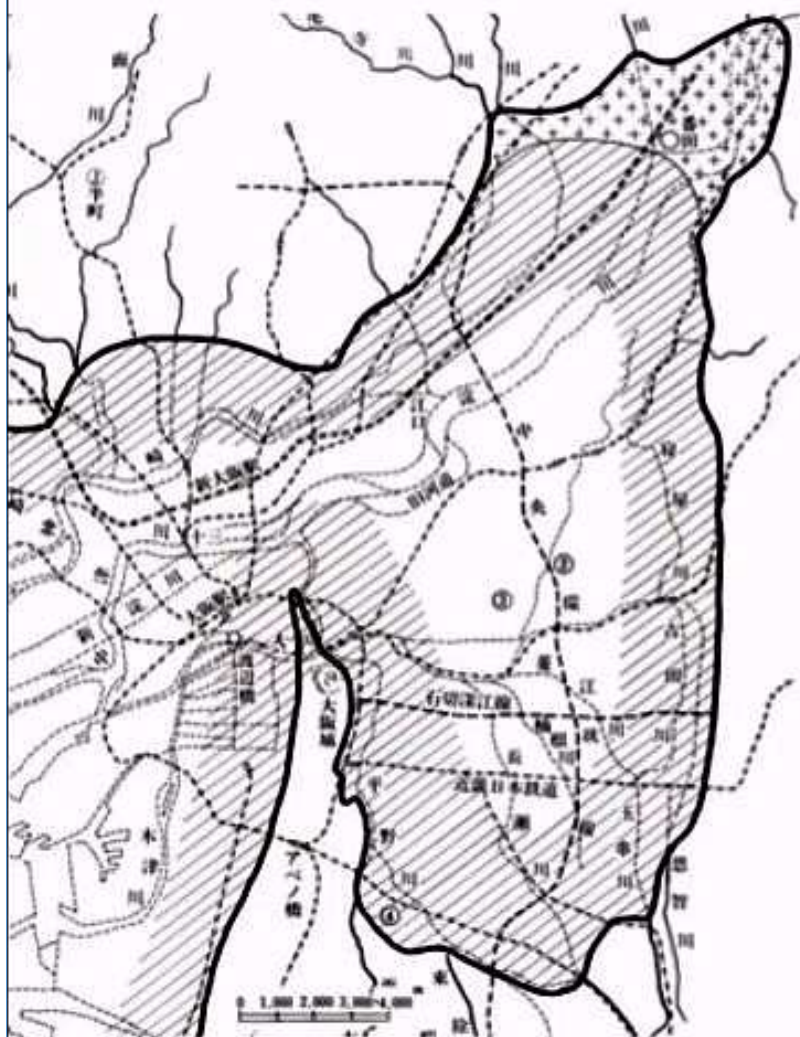
◆大阪平野の高度分布



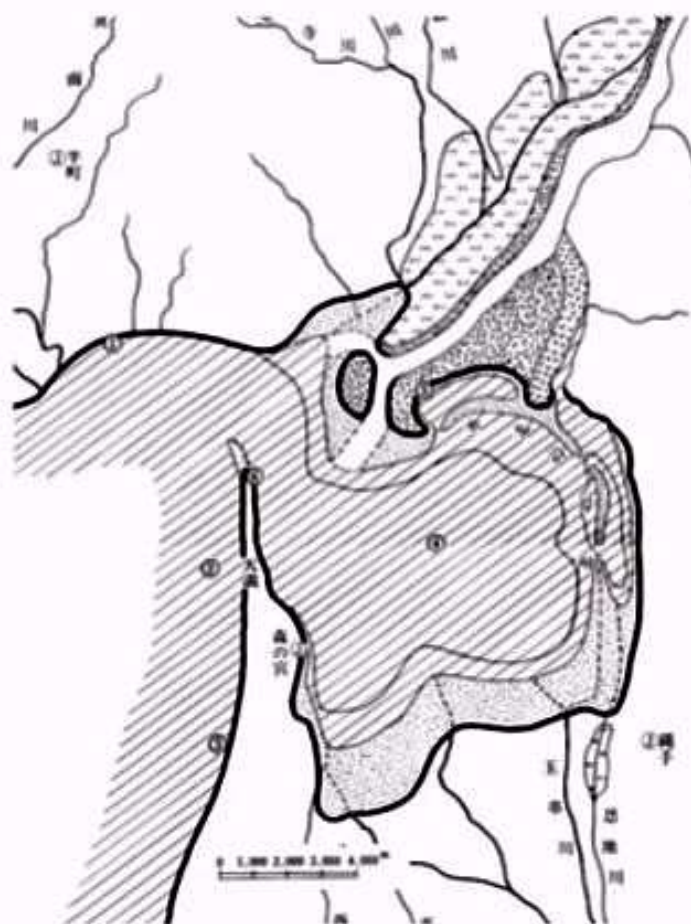
- 昭和25年に地質学教室が開かれた
- 1972年12月日本地質学会刊・地質学論集第7号・海岸平野特集
市原実・梶山彦太郎〈大阪平野の発達史—炭素14年代から見た—〉
- 1978〈アーバンクボタNo16〉
- 1985 続・大阪平野の発達史(古生物学研究会)
- 1986『大阪平野の発達史』青木書店

3/3 科学で検証 神武東征は有ったのか？ こうして証明された神武東征

◆河内湾 I の時代
(約7000～6000年前)



◆河内湾 II の時代
(約5000～4000年前)



30



科学で検証
神武東征はあったのか!
vol.3
～こうして証明された神武東征～

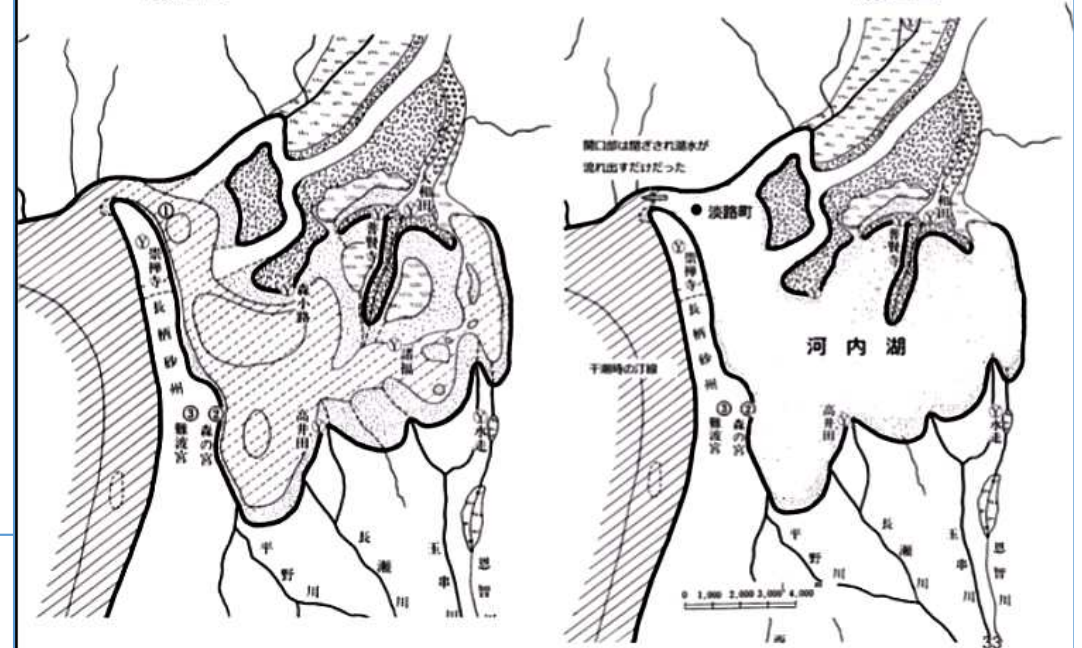
◆大阪中心部と上町台地



河内湖 I の時代 (西暦150~350年)

湖底図

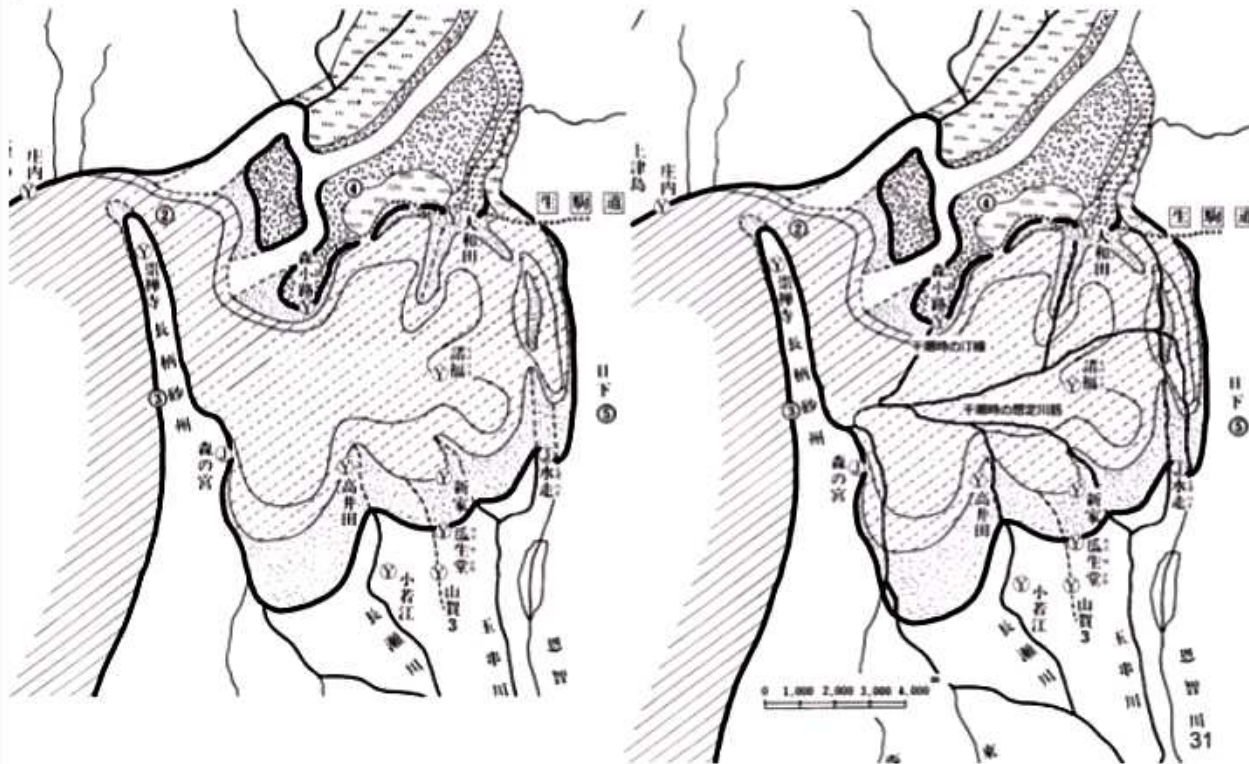
湖面図



◆河内潟の時代 (2000年~3000年前 BC50~BC1050年)

満潮

干潮



河内潟の時代

この時代には、汽水湖で海水が流れ込んでいた。
日下まで、舟で到達可能。
神武東征の記述が再現できる。

傷ついた五瀬が退却するにでる「南の方」よりの南方は駅名に遺る。

河内湖 I の時代

この時代には、淡水化し、河内湖となる。
従ってこの時代には、難波崎を船で通り抜けることは不可。
従って、神武東征の時代は、河内潟の時代(BC50~1050年)となる。

◆ 分裂するシナ正史への見解

石原道博 茨城大学名誉教授

- ・ 『魏志』『後漢書』『宋書』などについては、日本古代研究の上にも、必要欠くべからざる重要な資料価値をもつ点に、その特異性がみられるのである。

(新版 『魏志倭人伝』 岩波書店)

森 浩一 同志社大学名誉教授

- ・ 「魏志」倭人伝は三世紀の倭人社会を知るうえで、最重要の史料である。
(『倭人伝を読みなおす』)

田中英道 東北大学名誉教授

- ・ 要するに、この『三国志』の「魏志倭人伝」は、陳寿のフィクションなのである。
(『高天原は関東にあった』 248)

渡部昇一 上智大学名誉教授

- ・ 日本と交渉らしい交渉がなかった頃の魏の時代に、卑弥呼について何を書いたところでどれほどの意味があるのか。
- ・ 魏志倭人伝をいくらいじりまわした処で、日本の古代が分かるわけがない。
(『日本の歴史1 古代篇 神話の時代から』)

旧唐書 倭国・日本の併記

・ シナ文献の倭国や倭人を日本国、日本人と解釈することが誤解の原因

◆ 皇紀を西暦に換算する

1. 『記紀』およびシナの史書を頭から否定しない
2. 百済の年紀と照合する
日本書紀と百済本紀の記述が一致するか
3. 古事記と日本書紀の記述を読み、比べる
4. 干支の意味、百歳以上の崩年、倍半分の崩年
5. 本文を読み、総合的に判断して合理的に年代決定

◆ 魏志倭人伝
の
重要記述

魏略の逸文
「裴松之(372-451 宋)の注」

浴以如練沐其行來渡海詎中國恒使一人不梳
頭不去蟻蝨衣服垢汚不食肉不近婦人如喪人
名之爲持蓑若行者言善共顧其生口財物若有
疾病遭暴害便欲殺之謂其持蓑不謹出真珠青
玉其山有丹其木有柵杆豫樟檉檉投檀烏號楓
香其竹篠幹挑支有薑橘椒蓑荷不知以爲滋味
有獼猴黑雉其俗舉事行來有所去爲輒灼骨而
卜以占吉凶先告所卜其辭如今龜法視火拆占
兆其會同坐起父子男女無別人性嗜酒魏略曰其俗不
見大人所敬但搏手以當跪拜其

知正歲四節但計
春耕秋收爲年紀

倭志三十一
二十八

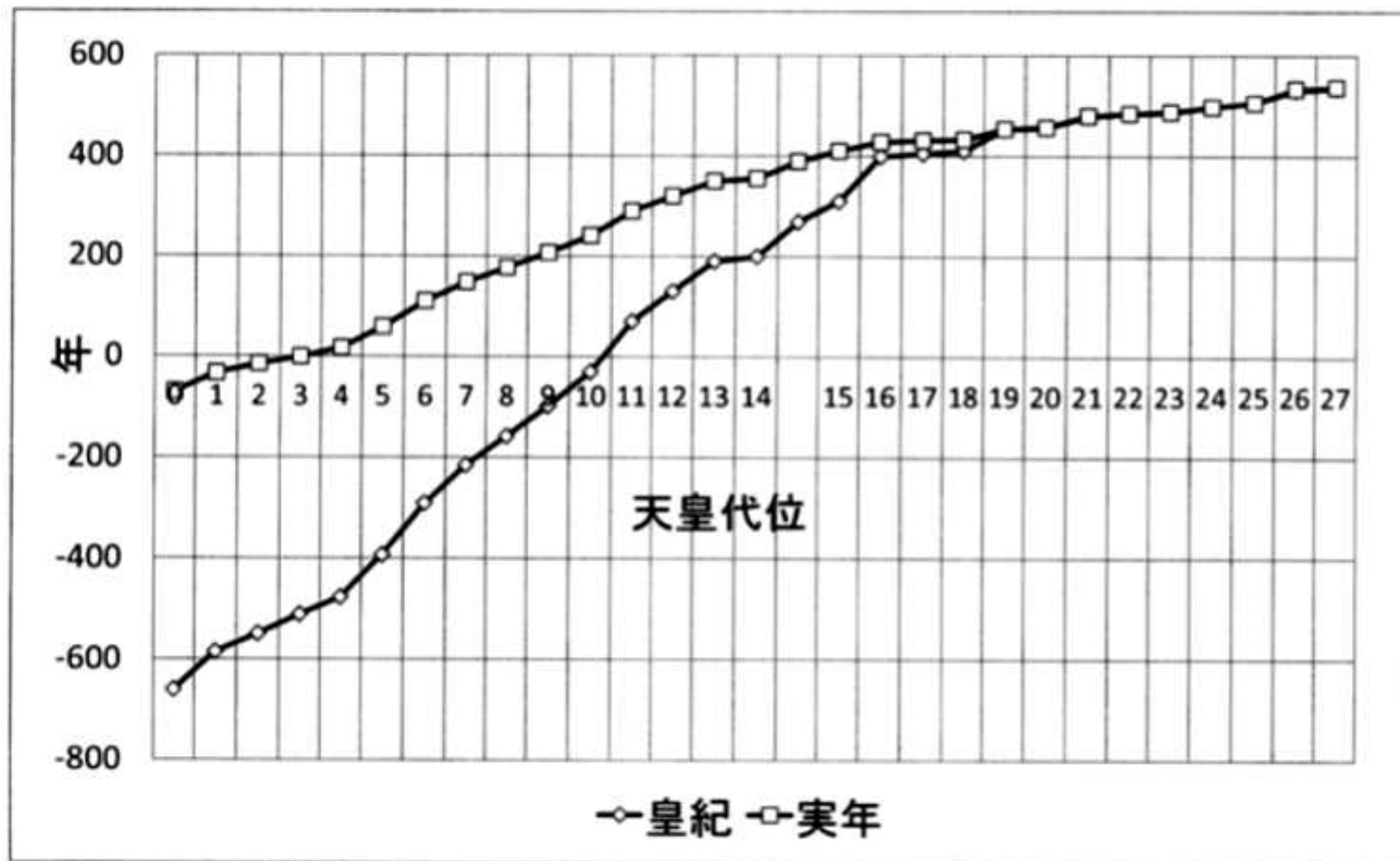
◆ 年表 皇紀から西暦への換算

①	②	古事記		日本書紀(皇紀)			
		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
代位	天皇諱号	崩年干支	崩御年齢	崩御年齢	崩御年	即位年	在位年数
			a	b			c
	神武即位						
1	神武		137	127	-585	-660	76
2	綏靖		45	84	-549	-584	36
3	安寧		49	57	-511	-548	38
4	懿德		45	77	-477	-510	34
5	孝昭		93	113	-393	-476	84
6	孝安		123	137	-291	-392	102
7	孝靈		106	128	-215	-290	76
8	孝元		57	116	-158	-214	57
9	開化		63	111	-98	-157	60
10	崇神	戊寅	168	120	-30	-97	68
11	崇仁		153	140	70	-29	99
12	景行		137	106	130	71	60
13	成務	乙卯	95	107	190	131	60
14	仲哀	壬戌	52	52	200	191	10
	神功皇后		100	100	269	201	69
15	応神	甲午	130	110	310	270	41
16	仁徳	丁卯	83		399	311	89
17	履中	壬申	64	70	405	400	6
18	反正	丁丑	60		410	406	5
19	允恭	甲午	78	78	453	411	43
20	安康		56		456	454	3
21	雄略	己巳	124		479	457	23
22	清寧				484	480	5
23	顯宗		38		487	485	3
24	仁賢				498	488	11
25	武烈			57	506	499	8
26	継体	丁未	43	82	531	507	25
27	安閑	乙卯		70	535	532	4
28	宣化			73	539	536	3
29	欽明				571	540	32
30	敏達	甲辰			585	572	14
31	用明	丁未			587	586	2
32	崇峻	壬子			592	588	5
33	推古	戊子		75	628	593	36

代位	実年(推定西暦)					
	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	崩御年齢	在位年数	修正在位年数	単純即位年齢	修正即位年齢	推定崩年
	d	e=c/2,c		f=d-e+1		
						-70
1	63.5	38.0	38.0	26.5	26.5	-33
2	42.0	18.0	18.0	25.0	25.0	-15
3	28.5	19.0	14.0	10.5	15.5	-1
4	38.5	17.0	17.0	22.5	22.5	17
5	56.5	42.0	42.0	15.5	15.5	59
6	68.5	51.0	51.0	18.5	18.5	110
7	64.0	38.0	38.0	27.0	27.0	148
8	58.0	28.5	29.0	30.5	30.0	177
9	55.5	30.0	30.0	26.5	26.5	207
10	60.0	34.0	34.0	27.0	27.0	241
11	70.0	49.5	49.0	21.5	21.5	290
12	53.0	30.0	30.0	24.0	24.0	320
13	53.5	30.0	30.0	24.5	24.5	350
14	26.0	5.0	5.0	22.0	22.0	355
	50.0	34.5	34.0	16.5	16.5	389
15	55.0	20.5	21.0	35.5	35.0	410
16	41.5	44.5	18.0	-2.0	24.5	428
17	35.0	3.0	3.0	33.0	33.0	431
18	30.0	2.5	2.0	28.5	28.5	433
19	39.0	21.5	21.0	18.5	19.0	454
20	28.0	3.0	3.0	26.0	26.0	457
21	62.0	23.0	23.0	40.0	40.0	480
22		5.0	5.0			485
23	38.0	3.0	3.0	36.0	36.0	488
24		10.5	10.5			498
25	28.5	8.0	8.0			506
26	41.0	25.0	28.0	17.0	14.5	534
27	35.0	3.0	3.0	33.0	33.0	537
28	36.5	3.0	3.0	34.5	34.5	540
29		32.0	32.0			572
30		13.5	13.5			585
31		2.0	2.0			587
32		5.0	5.0			592
33	75.0	36.0	36.0	40.0	40.0	628

神武即位の時期の推定

◆ 天皇代位年 皇紀と西暦の比較



◆ 神武天皇即位以降の古代史年表

21	20	19	18	17	16	15
雄略	安康	允恭	反正	履中	仁徳	応神
480	487	477	462	457	454	433
百済の文斤王死す。東城王即位	高麗王が東城王を殺し、百済を滅ぼす	百済の文斤王死す。東城王即位	百済の文斤王死す。東城王即位	百済の文斤王死す。東城王即位	百済の文斤王死す。東城王即位	百済の文斤王死す。東城王即位
480			462			
百済の文斤王死す			百済の文斤王死す			

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	代位
仲哀	成務	景行	垂仁	崇神	開化	孝元	孝靈	孝安	孝昭	懿徳	安寧	綏靖	神武	天号
355	350	320	290	241	207	177	148	110	59	17	BC 1	BC 15	BC 33	BC 70
神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后
神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后	神功皇后

- 神武東征は、BC70年
 - 武力による統一止め、血縁関係により統一する方針を出した。
 - 各地の豪族と親せき関係を構築する
- 綏靖以下欠史八代は、血縁関係を拡大し、大和朝廷勢力を拡大
- 同時期に邪馬台国を併呑
- 神功皇后(～399年)は百済本記(三国史記)の記述に整合性あり。
- 雄略天皇 = 武寧王の誕生(日本書紀)の記述と、百済墓誌の武寧王誕生が一致
- 左記年表は、合理性がある。

年代を明らかにできない古代史は、ほとんど眉唾物である。

年代を尋ねて答えに、合理性の有る答えができるか、これによって古代史論の正しさが評価できる。

長浜孔明氏の古代史解明の仕方

- 長浜浩明氏の古代史解明の方法論 --- 我々の方法論と類似
 - 多元的古代史の解明方法 科学で検証する
 - 東アジア各国(中国・朝鮮・日本)の歴史対比を前提する
 - 科学的方法として、遺伝学/DNA解析などと炭素14年代測定を採用し、検討
 - 戦後歴史学の問題点を指摘
 - 歴史上で年代を重視
- 具体的に何が素晴らしいか
 - 朝鮮・韓国の歴史と対比 (朝鮮半島に縄文土器/遺物と縄文人が、日本から移動していたことを証明)
 - 中国・朝鮮半島・日本の古代史の対比
 - DNA解析を古代史の決め手にしていること
 - 大阪湾の古代地形を紹介し、科学的に年代を特定された結果を使い、神武東征の実存と時期を証明
 - 中国史書/朝鮮・三国史記/日本書紀・古事記の3か国の歴史書で年代推定を行ったこと。
- 何を誤ったのか？
 - 遺伝学/DNAの解釈の仕方を誤ったこと。
 - 長浜氏は、アイヌ人/沖縄人に多いのがDタイプであることを認識していない。
 - 渡来人を認めず、Dタイプを縄文人以来ずっと日本人の遺伝子としている。
 - 弥生時代に、人が大きく入れ替わったことを認識していない。
 - Y-DNAのDタイプは縄文人、Oタイプが渡来人。アイヌ人/沖縄人に多いのがDタイプ
 - 炭素14年代測定法に校正曲線が用いられることを認識していないこと。
 - クボタ/大阪大の研究発表当時は、この技術の初期で、校正曲線の必要性を認識していない時代
 - 校正曲線適用後の年代を使用せず、海洋性リザーバ現象や幅の有る年代測定結果を無視している。
 - 科学的である場合、十分に理解せずに使うと間違いを犯す。

縄文人と弥生人

- 長浜動画では、日本人を均一のように扱っているが、誰も知っている縄文人と弥生人の人種的・文化的な違いを、無視している。
 - Y-DNAでは、縄文人は DとC で、弥生渡来人はO2bとO と判明している。
 - 長浜氏は、日本人はDタイプとし、アイヌ人はそれとは別の人種としている。事实は、アイヌ人の殆どがDタイプで、縄文人の血統を引いている。ここで、長浜氏は、大きな間違いを犯している。
- 弥生ミュージアムのホームページには下記のように記されている。

渡来系弥生人の身体的特徴を在来の縄文人と比較すると次のようになります。

	縄文人	渡来系弥生人
顔全体	・幅が広く(横長)四角い ・彫りが深い	・上下に長い ・のっぺりしている
鼻	比較的大きい	鼻幅が細く低い
歯のサイズ	現代人より小さい	現代人より大きい
噛み合わせ	上下の歯がぶつかり合う	上の前歯が下の前歯に覆い被さる(現代人と同じ)
身長(推定平均)	男性:158cmぐらい 女性:148cmぐらい	男性:164cmぐらい 女性:150cmぐらい



縄文人の頭蓋骨と渡来系弥生人の頭蓋骨の比較



典型的な縄文人と弥生人の顔の比較

- 大阪平野の発達史 アーバンクボタNO.16
 - 論拠となる河内潟・河内湖が記述されている。
 - その外にも、大阪平野の発達史関連の論文も複数残されている。
- 大阪平野の発達史
 - 語り手・市原実＝大阪市立大学理学部教授(地質学)
 - 聞き手・藤野良幸＝都市調査会専務理事
 - いまから6年前に、梶山さんと市原さんが共同で発表されたこの《大阪平野の発達史》は、14Cの手法を用いて、はじめて沖積平野の古地理を復元した画期的なもの……
- 動画中でも紹介されているように、大阪湾・大阪平野の変遷が学術的に紹介されている。発表時期は1966年。炭素14年代測定法が使われる極めて初期の研究発表。
- 炭素14年代測定を実施した機関は、学習院大学年代測定室に依頼と発表論文中に記載。

・ 1. 学習院大学年代測定室の測定結果と文書資料

- ・ 学習院大学年代測定室は木越邦彦教授 *)によって運営され、放射性炭素 ^{14}C による地質試料、考古学試料等の年代測定を行いました。設立の経緯については「学習院大学百年史」(学習院百年史編纂委員会編、学習院、昭和62年)の第三編、第三章に記述があります。1960年からは学外からの測定依頼も受け付け、全体で2万件を超える測定を行いました。木越教授が停年を迎えられたことに伴い、2001年をもって測定活動は終わりましたが、ここにそれらの測定結果を表としてまとめ、また、実験ノートともいべき文書資料とともに、広く研究者の方々の閲覧に供することにいたします。

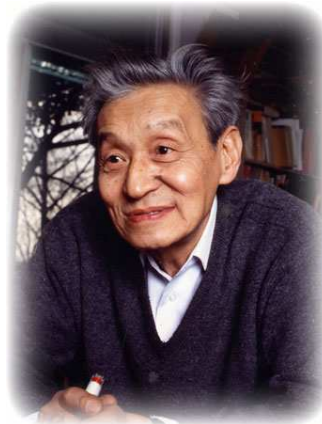
測定データにつけられた通し番号の頭にあるGaK-は研究機関「学習院大学理学部年代測定室」のコードで、国際的に認知されています。

この文書資料のオリジナルは国立科学博物館に保管されています。

また、 ^{14}C 年代測定をはじめとする年代測定についての一般的な解説が木越邦彦「年代を測る」(中公新書)にあります。

・ 2005年4月
学習院大学理学部

- ・ - Link -
- ・ 1. 学習院大学年代測定室の測定結果と文書資料
- ・ [2. 学習院大学年代測定室について](#)
- ・ [3. \$^{14}\text{C}\$ 年代測定法について](#)
- ・ [4. 年代測定の結果について](#)
- ・ [5. 文書資料について](#)
- ・ [6. 文書資料\(PDF\)](#)
- ・ [7. 測定結果\(エクセル\)](#)



現在は、名古屋大/東大などが測定装置を持ち、委託を受け、炭素14年代測定を行っているが、当初は、学習院大学が設備を持ち、その役割を担っていた。

まだ、校正曲線の必要性も判っていない時代の、本当の意味で、先駆的な役割を果たしていた。

しかも、先駆者として、的確な情報公開を行っていることなど、私(丸地)には、素晴らしい業績と思える。

学習院大学年代測定データ

- 7. 測定結果(エクセル) 1962/9/14日から2000/7/20日の間に測定した全データが公開されている。
- 大阪平野の発達史(1966年発表) に関わるデータは、1962年～1963年までの市原実/梶山彦太郎など大阪市立大学から依頼されたデータと推定。
- 当時は、理論的な数式に則り、年代測定が可能とされていた時代で、まだ、校正曲線が作られる以前の先駆的な研究発表であった。
- 河内湾→河内潟→河内湖の年代に関わる、4000年～1600年前(1955年基準)のデータを5件を検討して見る。最新の校正曲線を使い校正して対比する。

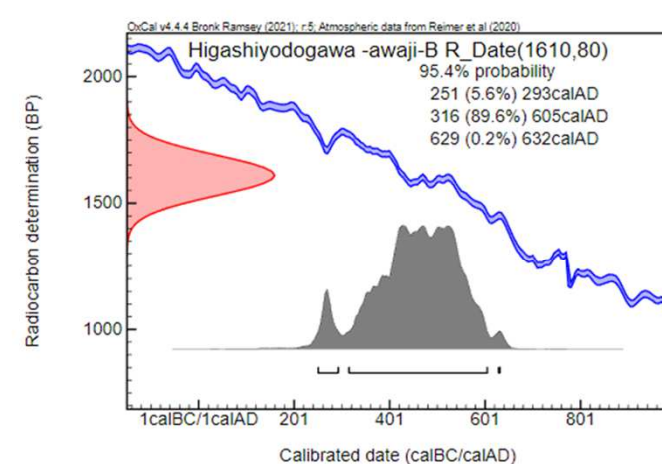
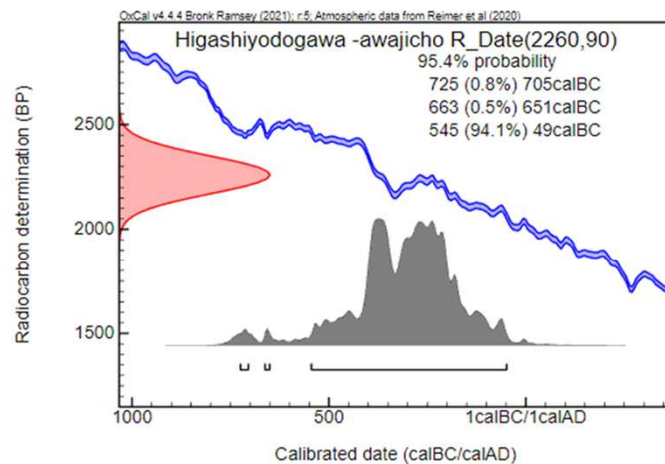
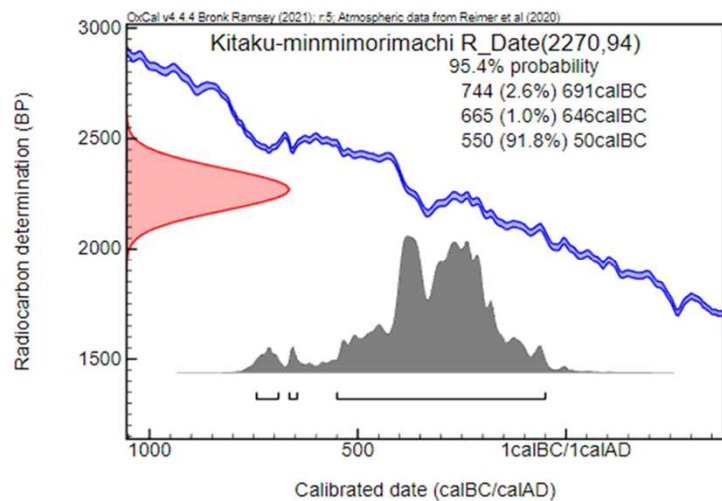
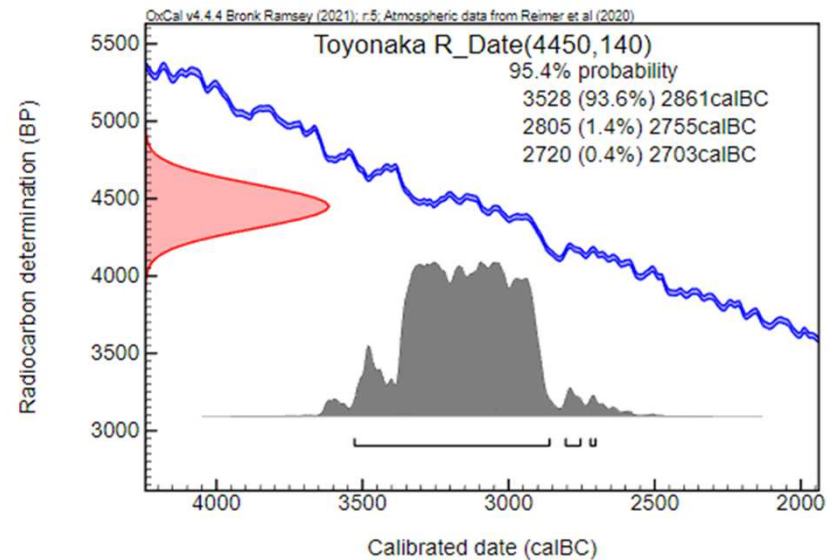
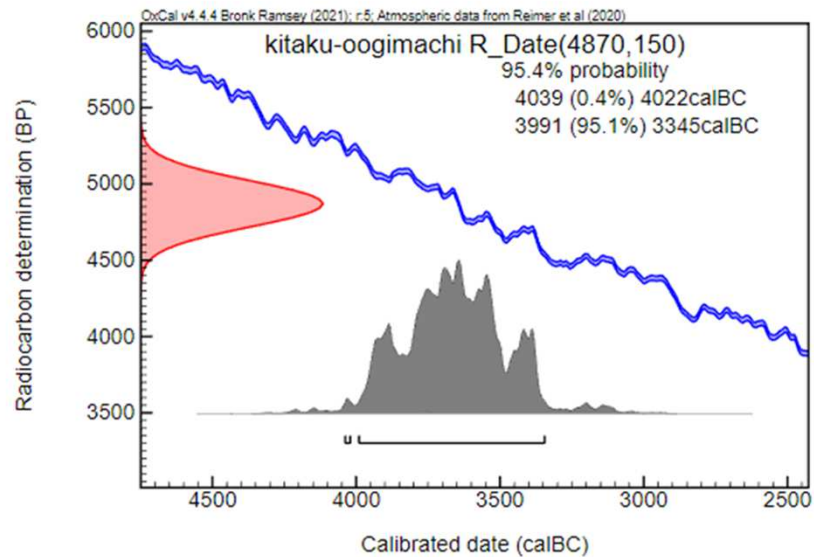
Intcal20で校正

中心値で比較

- 4870年前Σ150 北区扇町 Shells 梶山 BC3991~BC3345年(95.1%) 748年古く、幅は650年
- 4450年前Σ140 豊中市服部 Shells 梶山 BC3528~BC2861年(93.6%) 695年古く、幅は667年
- 2270年前Σ94 北区南森町 腐植土 梶山 BC550~BC50(91.8%) 20年新しく、幅は500年
- 2260年前Σ90 東淀川区淡路町 Shells 梶山 BC545~BC49(94.1%) 13年新しく、幅は494年
- 1610年前Σ80 東淀川区淡路町 Shells 梶山 AD316~AD605(89.6%) 120年新しく、幅は289年
- 年代に関しては、748年から10数年、前後し、測定年代には幅がでた。
- 測定対象物が **Shells:貝**で、**海洋リザーバ**現象が懸念される。
 - 海洋リザーバ効果 : 炭素14年代測定法では、海産物の測定年代は、数百年古い年代を示す。
 - 日本の南北で差があるが、北・国後島で平均695年、南・石垣島で平均367年古くなる。
- 従って、河内潟の年代:BC50~BC1050年には、信憑性が無い。
 - もっと新しい年代(西暦3世紀・4世紀まで)の可能性が十分に有る。

コード	番号	検出大学	検出番号	年代	シグマ	標高	緯度	経度	備考	検出方法	検出時期	調査した地層、土山層、文化層、遺跡名等	δ13C	校正カーブ	校正機関	調査時期	調査年月日	調査者	調査者の所属		
Gak	110	1	5380	190 North	34.42	East	135.30	大阪府 大阪市北区		Wood	国鉄大阪駅付近。沖積層底層		-26.85~-26.90m		Borjina		1959年5月	市原 実 (大阪市立大学)	1962年9月14日	ACCP	
Gak	111	1	19000	200 North	34.42	East	135.31	大阪府 大阪市平野町		Wood	沖積層底層		-19.5~-19.8m				1962年7月	梶山 彦太郎 (大阪市立大学)	1962年4月		
Gak	213	1	2270	84 North	34.42	East	135.31	大阪府 大阪市北区豊崎町電変点南方	4.9m	Natural	砂層にまみれていた腐植土層		地下下3.5m				1961年9月	梶山 彦太郎	1962年4月18日		
Gak	278	1	6110	160 North	34.42	East	135.36	大阪府 山内町御厨三丁目		Shells							1963年7月	梶山 彦太郎			
Gak	279	1	4870	150 North	34.42	East	135.37	大阪府 大阪市北区扇町	10m	Natural							1963年7月29日	梶山 彦太郎	1964年1月1日	ACP-1	
Gak	293	1	6460	140 North	34.46	East	135.29	大阪府 豊中市服部		Natural								1963年6月11日	ACP-1	西暦720年代	
Gak	294	1	910	90 North	34.40	East	135.31	大阪府 大阪市東淀川区扇町		Wood	沖積層							1963年7月	梶山 彦太郎		
Gak	320	1	32000	North	34.34	East	135.26	大阪府 堺市大浜公園沖1.5km	0P-23m	Natural	沖積層							1962年12月23日	池田 隆生 (大阪市立大学)		
Gak	321	1	23700	1100 North	34.30	East	135.28	大阪府 堺市東区寺町	25m	Natural	沖積層							1963年6月28日	池田 隆生 (大阪市立大学)		
Gak	322	1	18630	470 North	34.29	East	135.30	大阪府 堺市東区御池	55m	Natural	沖積層							1963年7月	池田 隆生 (大阪市立大学)		
Gak	323	1	27900	1800 North	34.29	East	135.30	大阪府 堺市上神宮町	60m	Natural	沖積層							1963年7月	池田 隆生 (大阪市立大学)		
Gak	324	1	1530	80 North	34.40	East	135.31	大阪府 堺市東区		Wood	沖積層							1963年7月29日	ACP-1		
Gak	362	1	2260	90 North	34.44	East	135.31	大阪府 大阪市東淀川区淡路町	地下下1.10~7.50m	Natural	沖積層							1964年7月	梶山 彦太郎	1964年1月1日	ACP-1
Gak	363	1	1810	80 North	34.44	East	135.31	大阪府 大阪市東淀川区淡路町	地下下1.80~6.60m	Natural	沖積層							1964年7月	梶山 彦太郎	1964年7月	
Gak	1150	1	34600	+4400-2800 North	34.41	East	135.30	大阪府 大阪市(津守~玉出間)	深さ26.00m~26.85m	Natural	沖積層							1965年8月	大矢 隆 (大阪府立総合文化センター)	1965年12月9日	No.1
Gak	1151	1	33300	North	34.41	East	135.30	大阪府 大阪市(津守~玉出間)	深さ26.60m~30.00m	Natural	沖積層							1965年12月	大矢 隆 (大阪府立総合文化センター)	1966年12月19日	No.1
Gak	1152	1	29500	2200 North	34.41	East	135.30	大阪府 大阪市(津守~玉出間)	深さ25.15m~25.45m	Natural	沖積層							1966年11月	大矢 隆 (大阪府立総合文化センター)	1966年11月19日	ACP-2
Gak	1153	1	22300	950 North	34.41	East	135.30	大阪府 大阪市(津守~玉出間)	深さ23.15m~23.45m	Natural	沖積層							1966年7月	大矢 隆 (大阪府立総合文化センター)	1966年7月19日	
Gak	1641	1	6650	140 North	34.42	East	135.35	大阪府 大阪市東区	高床約1m	Wood	掘り残された木							1968年8月8日	No.2	5000年	
Gak	1642	1	37000	North	34.35	East	135.33	大阪府 大阪市東区今里町	17m	Natural	沖積層							1968年4月30日	No.1	12万年	
Gak	1978	1	2640	80 North	34.36	East	135.33	大阪府 大阪市平野区瓜破	地下下1.50m	Natural	沖積層							1969年1月25日	ACP-2	8. C. 200~100年	
Gak	4342	1	2160	100 North	34.5	East	135.3	大阪府 高槻市 英大村農場地内		Natural	沖積層							1972年2月17日	No.2	7世紀より後	
Gak	4343	1	1960	90 North	34.5	East	135.3	大阪府 高槻市 英大村農場地内		Natural	沖積層							1972年2月14日	No.2	7世紀より後	
Gak	4344	1	1920	100 North	34.5	East	135.3	大阪府 高槻市 英大村農場地内		Natural	沖積層							1972年2月13日	No.2	7世紀より後	
Gak	4345	1	1980	100 North	34.5	East	135.3	大阪府 高槻市 英大村農場地内		Natural	沖積層							1972年2月13日	No.2	7世紀より後	
Gak	6311	1	2370	100 North	34.4	East	135.32	大阪府 大阪市東区中之島	地下下3.1m	Natural	沖積層							1975年1月	大野 重 (難波宮跡地調査)	1975年1月	
Gak	6312	1	3350	90 North	34.4	East	135.32	大阪府 大阪市東区中之島	地下下3.4m	Natural	沖積層							1975年1月	大野 重 (難波宮跡地調査)	1975年1月	
Gak	6313	1	4780	120 North	34.4	East	135.32	大阪府 大阪市東区中之島	地下下4.15m	Natural	沖積層							1975年1月	大野 重 (難波宮跡地調査)	1975年1月	

校正結果



- 古代史を研究する場合に、科学的な検証は極めて有効な手段であり、積極的に採用すべきだが、現実的には、最先端科学には、配慮しなければならない未知の事象もあり、採用には、十分な留意が必要。
 - 採用にあたっては、該当する先端科学について、十分な理解を試みて、真摯に勉強し、研究者の意見を聞き、古代史に適用すべきだ。
 - 特に、研究データが公開されていない研究成果は、採用すべきではない。
 - 今回の学習院大学の炭素14年代測定法のデータは公開されていたために、検証が可能であった。良き事例と云える。
- 長浜氏は、
 - 遺伝子/DNAと云う先端技術の結果を採用したが、誤った理解で、全く違う結論に至ってしまった。
 - 炭素14年代測定法と云う先端技術の結果を採用したが、その後の科学の進歩を理解しなかったがために、誤った年代の情報を持って、神武東征の年代を紀元前に限定し、歴史を構築したために、誤った歴史年代観に至ってしまった。
 - 歴史学の新しい方法論を提示し、それを実践したことは、大変すばらしいことではあるが、先端技術への理解度と注意が足りなかったために、誤った結論を出し、その誤った結論に多くの人を導いていることは、困ったこと。